

日本流通学会・第29回全国大会統一論題趣意書

統一論題「地域の再生と流通」

2015年度全国大会プログラム委員会

日本流通学会は創立25周年を記念して出版プロジェクトを立ち上げた。学会員の献身的な努力と協力のお陰で、2013年に白桃書房より「5巻本」を出版できたことは日本流通学会の力量を世に示したとともに、現代のさまざまな問題を多面的に分析して極めて有意義であった。

この「5巻本」については第27回全国大会（2013年10月、関東学院大学）で「公開特別講演」が催され、また、第28回全国大会（2014年11月、阪南大学）でも「5巻本」を基礎に統一論題「現代流通の理論的課題」が設定された。今年の第29回全国大会では「5巻本」の中の第1巻、佐々木保幸・番場博之編著『地域の再生と流通・まちづくり』を念頭に、「地域の再生と流通」を統一論題に定める。

地域経済や社会の疲弊はもはや「活性化」では追いつかず、「再生」という処方が必要とされる段階にきている（第1巻「まえがき」）。なぜ、「地域の再生」が必要なのか？地域では少子化・高齢化・過疎化・シャッター街化・フードデザート化などで、そこに住む人々の生存権が脅かされている現実がある。多くの人々が生まれ育った地域で生涯を過ごしたいと願っても、働く場や買い物する店舗が減少し、地域外に出て行かざるをえないことがある。少子化に加えてそのような人口流出が地域の高齢化・過疎化・シャッター街化をますます加速し、残された人々は日常の食料品さえ買い物に不自由することになる（フードデザート化）。このような現象は「地方」でも「都市」でも起こりえる。「地域の再生」は人々の生存権の追求である。

一方、「地方」という「地域」は、地価も安く住宅環境も良好である。「地域の再生」が成功し、人々が争って「地方」に住むようになると、生活にゆとりが生まれ、また「地方」の商業などのサービス業も潤うことになる。そしてまた、地方自治体には税金が入り、インフラの整備や教育の充実などを一層推進できるようになる。それらがまた「地方」の魅力を高め、働く場も増大し、人口も増大し、新たな魅力を生み出していく。

今回の統一論題では、このような問題のいくつかに焦点を絞り議論してみたい。上記のように、「地域」というのは「都市」も「地方」も含む広い概念であり、「流通」というのも「商業」とどまらず「社会的総資本の流通」という広い概念で捉えるべきものである。農業における「六次産業化」などの課題も、「地方」や「商業」などに限定した議論で語ることは難しい。また対象となる人々についても、単なる「消費者」ではなく、「労働者」であり「学生」であり「主婦」であると同時に「消費者」である「生活者」を念頭に置く。

日本流通学会 第29回全国大会 プログラム

統一論題「地域の再生と流通」

会 場 北海道大学農学部（札幌市北区北9条西9丁目）

日 程 10月9日（金） 各種委員会・理事会
13:30～16:00 企画委員会（1階 S103 大会議室）
14:00～16:00 編集委員会（3階 S322 農業経済演習室）
14:00～16:00 学会賞選考委員会（3階 S366 経営プロジェクト室）
14:00～16:00 国際交流委員会（4階 S404）
14:00～16:00 情報管理委員会（3階 S363 開発プロジェクト室）
16:00～18:00 理事会（1階 S103 大会議室）

10月10日（土）
9:00～16:20 統一論題シンポジウム（4階 大講堂）
16:30～17:50 総会（4階 大講堂）
18:00～20:00 懇親会（北大エンレイソウ）
※10日の受付（休憩室）は4階大講堂前のロビーとなります。

10月11日（日）
9:30～14:50 自由論題報告セッション
※11日の受付は3階 S31 教室前、休憩室は3階 S32 教室となります。

大会参加費 3,000円（非会員 3,500円）

懇親会費 一般会員 4,000円（当日 5,000円）、学生・院生会員 3,000円（当日 4,000円）

※大会参加費、懇親会費はそれぞれ事前に別紙の振込用紙でお支払い下さい。

第1日 10月10日(土)
統一論題シンポジウム 農学部4階大講堂

| | | | |
|-------------|--|----|---------------------------------------|
| 座長 | 宇野史郎(熊本学園大学) | 司会 | 佐藤 信(北海学園大学) |
| 09:00~09:05 | 開催校挨拶 | | 坂爪浩史(北海道大学) |
| 09:05~09:10 | 学会長挨拶 | | 檜原正澄(関西大学) |
| 09:10~09:30 | 座長解題 | | 宇野史郎(熊本学園大学) |
| | 地域の再生と流通 | | |
| 09:30~10:10 | 基調報告1 | | 番場博之(駒沢大学) |
| | 地域をめぐる環境変化と流通 | | |
| | - 「地域の再生とまちづくり」の視点から - | | |
| 10:10~10:20 | 休憩 | | |
| 10:20~11:00 | 基調報告2 | | 杉田 聡(帯広畜産大学) |
| | 巨大流通資本と『買い物難民』- 広がる食の砂漠 - | | |
| 11:00~11:40 | 基調報告3 | | 今野聖士(福島大学) |
| | 小売業者が構築する地域内循環型サプライチェーン | | |
| | - リージョナルCVSによる域内農水産物をベースとした | | |
| | サプライチェーン構築 - | | |
| 11:40~12:40 | 昼食 | | |
| | 司会 | | 田中 彰(京都大学) |
| 12:40~13:10 | 特別講演1 | | John Dawson(エジンバラ大学・スターリング 大学名誉教授) |
| | Retailers as agents in local economic and social revitalization: Applying the concept of embeddedness | | |
| 13:10~13:40 | 特別講演2 | | YongGu Suh(淑明女子大学教授、韓国流通 学会名誉会長) |
| | Omni-Channel and Retail Evolutions | | |
| 13:40~14:10 | 質疑 | 通訳 | 戸田裕美子(日本大学) 金 昌柱(立命館大学) |
| 14:10~14:30 | 休憩 | | |
| | 司会 | | 佐藤 信(北海学園大学) |
| 14:30~15:10 | ゲストスピーチ | | 佐久間良博(コムギケーション倶楽部) |
| | 司会 | | 宇野史郎(熊本学園大学) |
| 15:10~16:30 | パネル・ディスカッション | | |
| | パネラー | | 番場博之(駒沢大学) |

杉田 聡 (帯広畜産大学)
今野聖士 (福島大学)
佐久間良博 (コムギケーション倶楽部)

16:30～16:40 休憩
16:40～17:50 総会
18:00～20:00 懇親会 (エンレイソウ)

第2日 10月11日(日)
自由論題セッション 農学部各教室(1～3階)

※各報告 25分、質疑応答 15分

第1会場(1階S12教室) 国際(第3報告まで英語セッション)

座長 野崎俊一 (立教大学)

- 第1報告 09:30～10:10 Rice traders' initiative in Rice marketing System of Bangladesh: A case study of Brahmanbaria District
Maya Sultana (Kagoshima University)・Junayed Uddin Ahmed (Saga University)・Yoshiharu Shiratake (Saga University)
- 第2報告 10:15～10:55 Dynamic Evolution of Online Shopping
Dong Il Lee (Sejong University) (Vice President of KODIA)
- 第3報告 11:00～11:40 The Recent History of the Home Meal Replacement Industry in Japan
Yumiko Toda (Nihon University)

座長 孫飛舟 (大阪商業大学)

- 第4報告 12:40～13:20 フランス流通小売業の“drive”の展開と競争環境について
森脇丈子 (流通科学大学)
- 第5報告 13:25～14:05 フィリピンにおける卸売業の役割について
ールソン島山岳地帯とマニラ都市部の加工食品流通調査から
舟橋豊子 (長崎県立大学)
- 第6報告 14:10～14:50 情報通信産業の「ハード化」と消費者意識の「硬直化」
江上 哲 (日本大学)

第2会場（2階 S22 教室） ブランド・物流

座長 井上真里（日本大学）

- 第1報告 09:30～10:10 ラグジュアリー・ファッション・ブランドのライセンス
ビジネスー日本型ライセンスビジネスの発展過程ー
大熊美音子(立教大学大学院)
- 第2報告 10:15～10:55 小売ブランド研究に関する一考察
木下明浩(立命館大学)
- 第3報告 11:00～11:40 リスク認知を含めたブランド・店舗選択行動モデルの
構築と課題
大田謙一郎（長崎県立大学）

座長 原田 将（兵庫県立大学）

- 第4報告 12:40～13:20 イタリアにおける日本人ものづくり職人によるブランド
価値創造戦略ーCISEI ブランドを中心にー
平山 弘（阪南大学）
- 第5報告 13:25～14:05 中国の低温流通食品のコールドチェーン維持に関する
制度整備と企業の実施状況
朱 美華（東京大学大学院）・荒木徹也（東京大学）
- 第6報告 14:10～14:50 沖縄の国際航空貨物のハブ・スポーク・ネットワーク
システム
塩見英治（中央大学）・小熊 仁(金沢大学)

第3会場（3階 S31 教室） 食品・農産物

座長 野見山敏雄（東京農工大学）

- 第1報告 09:30～10:10 現物支給による自立支援活動と食品流通の分析
ーフードバンク活動の新たな位置づけー
小林富雄(愛知工業大学)
- 第2報告 10:15～10:55 東日本大震災の被災地における水産加工業の復旧状況と
今後の課題ー石巻市・気仙沼市の被災企業に対する調査を
踏まえてー
李 東勲（石巻専修大学）・石原慎士（石巻専修大学）

座長 種市 豊 (山口大学)

第3報告 11:00～11:40 病院給食運営におけるセントラルキッチン方式導入の意義

岡部哲子 (北海学園大学大学院・天使大学)・

佐藤 信 (北海学園大学)

第4報告 12:40～13:20 飼料用稲わら流通のグローバル化と国内市場形成の特質

泉谷眞実 (弘前大学)・野中章久 (農研機構東北農研センター)

座長 橋本直史 (徳島大学)

第5報告 13:25～14:05 沖縄におけるヤギ肉の需要・供給とヤギ肉流通の現状

バルジニヤム・マイツェツェグ (北海道大学大学院農学院)

第6報告 14:10～14:50 英米におけるアニマルウェルフェア法規制とスーパー

マーケットの競争構造－鶏卵と牛乳の事例－

大木 茂 (麻布大学)

第4会場 (2階 S21 教室) 小売・商店街

座長 宮崎卓朗 (佐賀大学)

第1報告 09:30～10:10 コンビニエンスストア・チェーン本部における戦略考察

－競争の戦略論の修正を通して－

山崎京二 (広島修道大学大学院)

第2報告 10:15～10:55 ファミリーマートの国際化戦略の変遷

－日本型コンビニの国際化の理論構築に向けて－

鍾 淑玲 (東京工業大学)

第3報告 11:00～11:40 ニトリの起業家精神の源泉の研究

渦原実男 (西南学院大学)

座長 八幡一秀 (中央大学)

第4報告 12:40～13:20 価値協創型小売経営と持続性の課題

－買物困難者対応としての移動販売車事業を主体に－

菊池宏之 (東洋大学)

第5報告 13:25～14:05 小売企業の商品調達と社会的責任

鳥羽達郎 (富山大学)

第6報告 14:10～14:50 商店街における業種構成の変化とイベントの広がり

－バル街におけるコーディネート－

角谷嘉則 (桃山学院大学)